



宇都宮線で許しがたい暴行事件が発生！

非常通報設備のさらなる周知徹底と
緊急時に対応できる駅の要員配置を！

今月23日、宇都宮線内で喫煙を注意された男が、注意した高校生に暴行を加え、骨折などの重傷を負わせたとして逮捕されたことが大きく報じられています。男は「正当防衛だった」などと供述しているようですが、一方的な暴力行為であり、情状酌量の余地はありません。

相次ぐ列車内での凶行で、車内非常通報装置の認知度は上がっています。万が一の場合に躊躇なく使用できるよう、より分かりやすい案内表示を目指すなど、鉄道事業者としても改善を重ねていくとともに、緊急時に即座に対応できるよう、適正な駅の要員配置なども検討していかなければなりません。

- ✓ 車内警報ブザーや列車非常停止装置の設置個所をさらに分かりやすく！
- ✓ いざという時に、駅社員が即座に駆け付けることのできる体制を！
- ✓ 遠隔システムや無人化の推進ばかりで本当に駅の安全は大丈夫？

駅や車内の防犯強化のため、あらゆる事態を想定して議論を深めることが重要です！

JR 西日本では

JR 西日本岡山支社では、支社社員がテレワークをする際に、不定期に無人駅の駅事務室を利用するなどの取り組みが行われています。分散勤務という目的以上に、無人駅におけるトラブルなど、緊急時にもすぐに対応できるメリットがあるということです。

